

KOMORO

MI・RA・I

チャレンジャー☆

ダメな時こそ **声** を出して



「こもろみらいチャレンジャー」は、市内の高校に通う学生の頑張る姿に注目し紹介していきます。

企画課 情報戦略推進係

No.6

小諸商業高校 「小野寺さん」のチャレンジ

小学3年生から始めたバレーボールは、今年で9年目。小諸商業高校のバレーボール部キャプテンを務める小野寺さん。バレーボールを始めたきっかけは、一つ上の姉の影響とのこと。姉とは別の高校に通うため、姉のいるチームと対戦したことがある。同じセッターを務める小野寺さん姉は、試合中に姉妹間で熾烈な心理戦が繰り広げられていたとのこと。試合は姉のいるチームが勝った。姉妹対決ということもあり、特別な想いが

あったため「勝ちたかった」とのこと。

小野寺さんがバレーボールを続ける理由には、チームメイトの存在がある。

楽しい時も辛い時もみんなと一緒にいること、達成感を共有できることがバレーの楽しいところだと話す。キャプテンを務める小野寺さんは、チームの雰囲気が悪いときなど、率先して「声」を出し、チームを盛り上げようと意識している。時には、自分のミスで落ち込んでいるときは、チー

ムメイトに励ましてもらうことも。ここにも、チームメイトの存在の大きさが感じられる。キャプテンとして、「みんなに頼られる存在になること」が小野寺さんの今の目標。

部活以外にも頑張っていることは、「日商簿記2級」の試験に向けての勉強。

部活動と勉強の両立ができていることの支えには、親の存在がある。自分のやりたいことに反対せず受け入れてくれたり、時には厳しく接してくれたり、親への感謝を忘れない。



取材協力

小野寺 美瑛さん
(小諸商業高校2年生)

小諸のイイところ
町を歩いていると、色んな方があいさつを交わしているところ。

